

議員定数検討委員会の報告（概要）について

1 検討委員会開催日

令和6年7月17日（水）

令和6年7月26日（金）

令和6年8月2日（金）

2 検討内容

上記3回にわたり、議員定数の在り方について検討を行った。

3 委員氏名

委員長 岡 實

副委員長 高 梨 俊 弘

委員 鈴 木 弥栄子

委員 本 間 昭 男

委員 秋 山 勝 則

委員 江 塚 学

委員 鈴 木 正 人

委員 加 藤 文 重

委員 寺 田 幹 根

4 議員定数についての考え方（結論）

議員定数検討委員会では、磐田市議会のあるべき姿、果たすべき役割等を改めて議論、確認し、委員間での共通認識を得て、議員定数の在り方について協議、検討した。

検討の結果、委員会の総意として議員定数は現状を維持すべきとの結論に至ったことを報告するとともに、以下にその理由を記述する。

■議員定数は現状を維持すべきとした主な理由

- ・全国の同規模自治体議会及び県内市議会の議員1人当たりの人口から、本市の議員条例定数は、決して多い状況ではない。
- ・多様性（性別、年齢層、職歴、社会的背景など）を担保し、多様な意見を市政に反映させるためには、現在の議員数が必要である。
- ・これ以上の定数削減は、常任委員会数や委員数の削減にも繋がり、政策議論の活性化を損ない、委員会審査を深められなくなる。

5 まとめ

議員定数検討委員会は、少子高齢化・人口減少社会が到来する中で、議会の役割、市民と議会の関係、執行機関の監視機能、常任委員会の運営・審査など様々な観点から、磐田市議会のあるべき姿を改めて議論、確認し、委員間での共通認識を得て、議員定数の在り方について協議、検討した。

本委員会のまとめとしては、令和7年4月執行予定の磐田市議会議員選挙においては、委員会の総意として「議員定数は現状を維持すべき」との結論に達したので、議員定数検討委員会の報告とする。